

群馬ふるさとづくり賞 受賞団体決定



群馬県地域づくり協議会では、「群馬ふるさとづくり賞」を設け、活力ある地域づくりに取り組んでいる優れた団体等を顕彰しています。

本年度も、県内各地で地域づくり活動を行う団体から応募があり、「主体性」「地域性」「継続性」「先駆性」等を総合的に審査した結果、「北橘地区竹の里づくり協議会」が群馬ふるさとづくり賞に、「岩倉自然公園水辺の森を愛する会」が群馬ふるさとづくり奨励賞に輝きました。また、受賞団体については、(公財)あしたの日本を創る協会主催の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」に推薦いたしました。

本賞は地域づくりへの活動の成果をアピールする良い機会となり、魅力ある地域づくりの更なる進展を図る契機になることと思います。来年度も皆様からのご応募をお待ちしております。



ほっきつ

講評

読売新聞前橋支局 高野支局長



群馬ふるさとづくり賞を受賞された「北橘地区竹の里づくり協議会」の皆さん、群馬ふるさとづくり奨励賞を受賞された「岩倉自然公園水辺の森を愛する会」の皆さん、おめでとうございます。審査委員を代表して、講評を述べさせていただきます。

「北橘地区竹の里づくり協議会」は平成25年2月に発足し、5000㎡に及ぶ竹林公園の整備と維持管理を行ってきました。また、そこで年2回イベントを開き、竹工芸の体験や演奏会などを通して、訪れる人に「竹林浴」を楽しんでもらう取り組みを続けています。その竹林公園が今年1月の大雪で、約1万本の竹のうち4000本が途中で折れる被害を受け、会員の皆さんによる復旧作業が続いているとうかがいました。完全復旧には3~4年かかるそうですが、それもまた協議会の結束を高め、活動の輪をさらに広げるものになればと願っています。

玉村町の「岩倉自然公園水辺の森を愛する会」の皆さんは、雑草や不法投棄などで荒れた河川敷の公園で、平成24年からゴミ拾いや草刈りなどの環境美化・整備活動を続けてきました。その努力の甲斐あって、公園は安全で美しい自然公園として見事に蘇りました。また、子どもたちの自然体験や、さまざまな野外イベントを企画し、公園を人々の憩いの場として育ててきました。日本野鳥の会やNPOと連携したり、県内企業に社会貢献活動として参加を働きかけたりと、外部とも積極的につながろうとする姿勢には目を引くものがあります。

審査会では、「竹林」「自然公園」と、豊かな地域資源を有していた優位性が指摘されましたが、素晴らしい地域資源があっても活かされずに眠っている場所は数多く存在します。その中で皆さんが郷土への誇りと情熱をもって活動を重ね、大きな成果を挙げられたことが高く評価されました。

応募団体すべてにおいて、高齢者の方がとても元気に活躍されていると感じました。高齢化・人口減少社会が進む中、地方創生を担うのは次世代の若者たちと考えられがちですが、実はシニアの皆さんこそ、なによりの「地域資源」なのではないかと思った次第です。

皆さんの活動が、この賞を励みにますます発展されることを願っています。

本日はまことにおめでとうございます。